

Yahoo!、選挙ドットコムによる全衆議院議員候補に対するアンケート回答

Yahoo 衆院選特設サイト

検索

各候補のアンケート回答が比較検討できます。

（プロフィールは）

相模原市立上鶴間中、厚木高校、東京大学法学部卒。通商産業省（現経済産業省）入省。構造改革特区制度、AEDを誰でも使える規制改革を実現し13年で退職。2009年衆院初当選（4期）。特定秘密を監視する「情報監視審査会」の国会設置を提案、実現。検察庁法改正案審議で野党を代表して質問、廃案を実現。2020～21年の衆予算委の質問時間が最長。立憲民主党デジタル政策PT座長としてネット投票法案を提出。52歳。

（スローガンは）

反対だけでなく、提案を実現する政治

（政治家を志した理由は）

通産省係長時代、水俣病訴訟の被告代理人として原告患者から和解を求められたが官僚の立場上イエスと言えず。その後村山富市総理が和解を政治決断したのがきっかけ。特区やAEDを超える改革を行うため政治を志す。



（どんな強みや実績を国会議員として生かしたいか）

政治直結で仕事をした官僚の経験を官僚が能力発揮できる体制作りで生かしたい。法案策定能力を今後の法案作りに生かしたい。公文書管理・情報公開、デジタル政策などの行政ルールを改革し国民の信頼を取り戻したい。

（ハマっているものは）

- ①高校生の娘に勧められて観たアニメ「Dr. STONE」。科学の力で武力に勝つのが面白い。
- ②昨年始めたランニング。体重が10kg減ったが、今年夏フルマラソンに挑戦するも暑さで途中棄権。次こそ完走したい。



愛甲郡選出の
佐藤圭介県議と走る
(愛川町角田の中津川沿い)。

（一番苦労したことは）

野党候補が比例復活当選すら一度もない自民党の牙城で世襲候補相手に挑戦。地元高校出身以外何もなく、徹底的に訪問するしかない。2006年補欠選挙に敗れた後も3年間訪問し続け、2009年は5万票差で勝利。

（一番の成功体験は）

通産省の官僚時代、ある区域だけ規制を外す構造改革特区制度を風呂の中で思いつき、実現したこと。校舎を所有しなくても賃貸で学校を開ける、2種免許がなくても介護運送で料金を受け取れるなど地域発の改革を実現。

「当選後に力を入れたい政策は」など、
続きは上記サイトへ。